

シルバー とつきょう

NO.347
2025.1.15

CONTENTS

02-07 「安全就業特集」

令和6年度 シルバー人材センター安全大会

安全就業に関する事例発表会 大田区シルバー人材センター

基調講演「事故防止対策の”見える化”と効果検証への取組【令和5年度データの分析報告】

転倒防止に向けた取組をご紹介します

「安全管理委員フォロー研修」がスタート

08-09 令和6年度 自主事業新設支援事業

シルバー人材センターの多様な求人開拓の強化

=シルバー人材センター・トライアル就業のご紹介=

10 シニアしごとEXPO2024

11 シルバー総合保険制度のご紹介

12 適正就業のポイント

フリーランスの取引に関する新しい法律が11月にスタート!

13 シルバー人材センター事務局への経営支援

シルバー人材センター等労働者派遣事業

14 シルバー人材センターに入会しませんか

・これからシルバー応援フェスタ ・高齢者活躍人材確保育成事業

15 会員向け技能講習

シルバー人材センター役職員研修

「生活支援サービス研修」にご参加ください!

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)



令和6年度 シルバー人材センター

令和6年9月27日（金）、都内シルバー人材センターの役員、会員の皆様、関係機関の皆様、計96名に参加いただき、東京しごとセンター地下講堂で「令和6年度シルバー人材センター安全大会」を開催しました。

中澤理事長の開会挨拶

安全活動は、長期間にわたり日々の安全計画の実践とその振り返り、更に実行計画の見直しを絶やすことなく繰り返していく、PDCAを実行することで、より大きな効果を発揮します。本日の事例発表と講演が皆様の日々の安全活動に大きく役立つことを期待しております。

東京都で発祥したシルバー人材センターは来年度で50年の節目を迎えます。人生100年時代と言われる昨今、地域の高齢者が元気に働くことに寄り添ってきたシルバー人材センターをますます発展させるべく、東京から元気を発信してまいりましょう。



理事長の開会挨拶

安全就業優良センターおよび令和6年度安全就業標語の表彰

今年度の安全就業優良センターは4つのセンターで、「過去3年間に死亡事故及び、重篤な後遺障害が残る事故がない」「度数率及び強度率が優良である」などの「安全就業優良シルバー人材センターの選考基準」を満たし、表彰となりました。

また、安全就業標語は、応募総数3,992点から、最優秀賞2点と優秀賞8点が表彰されました。当日会場には最優秀作品をもとに作成した安全啓発ポスターを貼り出しました。

<安全就業優良センター表彰：4センター>



台東区シルバー人材センター



大田区シルバー人材センター



羽村市シルバー人材センター



檜原村シルバー人材センター

※表彰に続いて行われた大田区シルバー人材センターの事例発表は4ページで紹介します。

安全大会

<令和6年度安全就業標語表彰>



最優秀賞(写真前列中央：北区吉田様)
※世田谷区平塚様は欠席



優秀賞(写真前列左二人目から：府中市小林様、西東京市西村様
後列左二人目から：調布市永石様、東村山市堀江様、羽村市葛尾様、
奥多摩町原島様)※江東区池崎様、江戸川区大久保様は欠席

安全啓発グッズの展示

今年度は講堂入り口前にて安全啓発グッズの展示を行いました。

各センターが独自に作成しているKYチェックリストや情報提供カード、就業ハンドブックなど、さまざまなグッズを展示したもので、来場者は他のセンターではどのようにして安全啓発が行われているのか、興味深く眺めていらっしゃる様子でした。



展示品の一例

安全宣言



事務局次長による安全宣言

財団事務局次長が代表して読み上げ、それに続き皆様と「安全宣言」を共有することで、改めて日々の就業の中で「安全はすべてに優先する」の基本理念に立ち返りました。



安全宣言

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 1 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 1 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

平成27年7月1日
東京都シルバー人材センター連合



閉会挨拶

令和6年9月に発表された東京の65歳以上の高齢者数は311万8千人と、前年と比べ5千人増加しました。多くの方にシルバー人材センターに入会してもらい、元気に活躍し続けていただくためには、「安全就業」が基本となります。今回の事例発表から得られたものをぜひ現場に持ち帰っていただき、安全就業の推進に役立ててください。



事務局長による閉会挨拶

安全就業に関する事例発表

安全就業優秀センター 公益社団法人 大田区シルバー人材センター

①大田区シルバー人材センターの概要

大田区シルバー人材センターでは、男性1,726名、女性1,301名、合計3,027名(令和6年6月30日現在)の会員が日々就業しています。

受注金額は、令和5年度実績で、請負919,402,542円、派遣169,245,287円となっています。



写真左から発表者の一柳さん、北澤主任

②適正・安全委員会の主な計画と活動

当センターには、総務委員会・広報委員会・会員開発委員会及び適正・安全委員会の4つの委員会があり、年間計画を策定しています。適正・安全委員会は、活動の充実を目的に、毎月第2月曜日に委員会を開催しています。また、安全パトロールは通常毎月2回、7月と11月の安全強化月間については、月に5回実施しています。

③安全研修・講習の実施

安全研修については、入会説明登録会で安全研修資料を配布するほか、会員開発委員会と共催の清掃研修等で安全研修のカリキュラム(KY実践法)を取り入れています。

また、警察署の協力を得て区内の公園で自転車講習会を、消防署の協力を得てAED使用講習会を実施しています。他にも、区内のスポーツクラブの教室を借りて、クラブの介護予防指導員による体力測定(年2回)と運動教室(年4回)を開催しています。

④KY・事故分析・ヒヤリハットについて

当センターでは会員が一人でKYを実施できるよう、名刺サイズの『自問自答カード』を作成、就業会員に配布しています。また、事故が発生した際は、現場に赴き、調査・分析を実施しています。事故分析の集計結果は毎年1回広報誌に同封して再発防止策の周知徹底をしています。さらに、ヒヤリハット事例を公募し、集計結果を分かりやすくチラシにまとめ、公表しています。



⑤会員の健康管理について

区の健康診断が始まる夏の時期に健康診断受診のPRチラシを会員に送付しています。年明けには、健康診断受診状況確認書を送付、回収し会員の健康診断受診の促進を図っています。また、夏本番を迎える前の総会開催時(6月)には、全会員に発送する起案書に「熱中症対策グッズ」を同封しています。



令和6年度は「塩飴と冷感タオル」を配布

今後は、会員のKY活動をさらに促進するために、KY動画の作成を進めています。他にも、自転車事故防止策の徹底や、熱中症対策の強化、委員会の充実と会員への安全就業の徹底を図り、さらに会員の安全就業の推進に努めて参ります。

【自問自答カード】

- 体調・服装・履物確認
- 会員証・電話・救急薬品確認
- 天候把握・経路上の危険確認
- 作業内容の確認
- 作業の仕様と手順の確認
- 作業現場の危険箇所確認
- 墜落・転落・転倒対策の確認
- 感電・熱中症・防虫対策確認
- 使用用具の使用前点検確認
- 注意事項とKY目標の確認
- 作業前の準備体操実施
- 指差呼称で安全作業に着手
- 作業終了・反省事項の確認
- ヒヤリハットの確認と反省



安全大会基調講演

事故防止対策の“見える化”と効果検証への取組【令和5年度データの分析報告】

昨年度に引き続き、今年度の安全大会でも、公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団（以下ダイヤ財団）と東京都連合の共同研究について、ダイヤ財団研究部長の石橋様より、基調講演として安全対策の実施状況、特に令和4年度と令和5年度との比較、さらに今後の展開についての報告が行われました。

現在シルバー人材センターで取り組んでいる様々な安全対策と事故の発生との関係について、「安全対策の実施」が「事故の低減」につながっているか、客観的な視点で安全対策の「見える化」と、同時に安全対策の効果検証に数年かけて取り組んでまいります。

現在、研究は大きく3段階に分けて進めています

STEP 1

東京都連合の「安全就業にかかる実績調査・相談表」から安全対策の取組状況を比較できる仕組みの構築

計画は？

- ・健康づくりの取組予定は？
- ・自転車運転の安全研修は行うのか？
- ・危険予知訓練・講習は行うのか？

実績は？

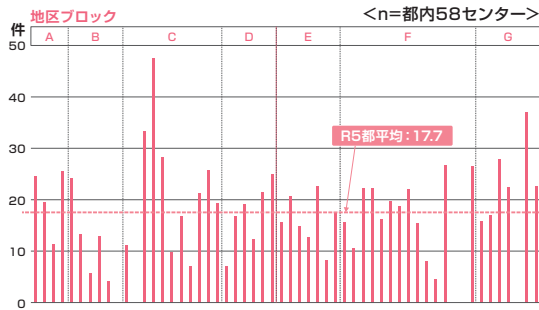
- ・健康づくりの取組実績は？
- ・自転車運転の安全研修は行ったか？
- ・危険予知訓練・講習は行ったか？

計画と実績の対比について、センター別にヒアリングし、全センターの集計を行う

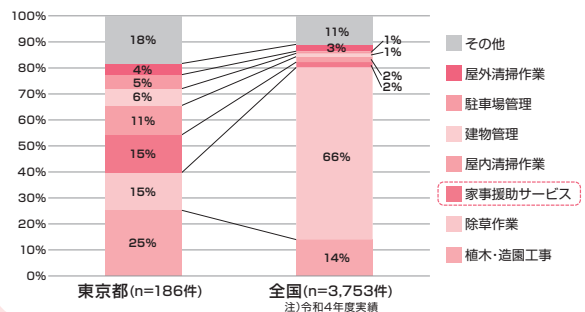
STEP 2

「安全対策実施状況データ」と「保険適用事故データ」を統合して、各種の安全対策の事故防止効果を検証

傷害事故・度数率の一覧(令和5年度)

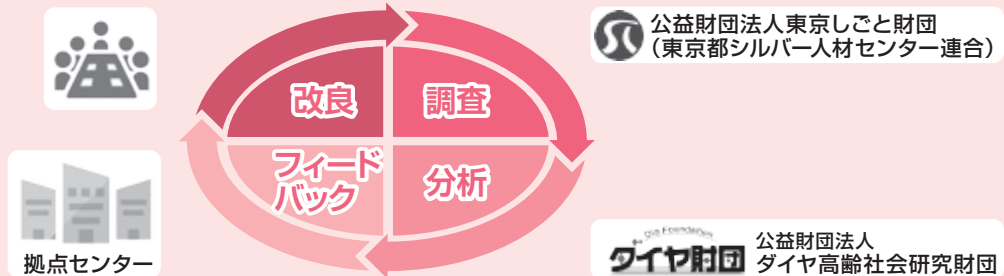


令和5年度 賠償責任事故の全国比較：仕事の分類



STEP 3

各センターは事故件数の低減に有効な対策を自ら選択し、安全対策のPDCAサイクルを定着させる



連合では、今年度から安全活動強化支援員を配置し、リスクヘッジの概念を取り入れた安全就業対策を展開しています。より実効性を持つ安全対策とするため、現状の取組を熟知し(調査)、取組と事故発生現状との突合せ(分析)を行い、何が足りないのか改善点を列挙(フィードバック)、新たな計画へと反映(改良)させていく、PDCAサイクルを基本とするリスクマネジメント体制の確立を進めています。

転倒予防に向けた取組をご紹介します

今年度、安全活動強化支援員2名体制で、都内35カ所(令和6年10月末現在)のシルバー人材センターの安全パトロールを実施しました。就業中および経路途中において、多くの転倒や自転車単独転倒が発生しています。

全てのセンターが転倒事故を課題として認識し、様々な取組をしていますので、その一部を紹介します。なお、各センター名は紙面の都合上、区市町村名のみ記載しています。

危険予知活動

- ・転倒防止に向けて、「KY チェックリスト」、「自問自答カード」、「一人 KY チェックシート」等の携帯と点検実施を要請 【大田区、渋谷区、中野区、杉並区、府中市】
- ・機関誌に「危険予知トレーニングシート」を折込み、KY 訓練実施を要請 【江東区、荒川区、大島町、三宅村他】
- ・危険箇所を示す「経路途中マップ」の作成要請により注意喚起 【渋谷区】

座学+運動実践

- ・ウォーキング講座、ウォーキング研修 【荒川区、調布市】
- ・「転倒予防体操」、「転倒予防講習」、「フレイル予防講習」、「いきいき健康運動教室」、「健康教室&体操」、「ご当地体操」、「安全就業講習会」、「認知症講座」、「熱中症対策講習」等で、講師は、大学教員、自治体職員、大手スポーツジム指導員、看護師・保健師等、JAF 職員、自センター会員、東京都連合職員など多彩な顔ぶれです。【中央区、新宿区、墨田区、目黒区、大田区、渋谷区、杉並区、北区、練馬区、足立区、三鷹市、国分寺市、国立市、羽村市、檜原村 他】

取組

- ・ウォーキングキャンペーン(20分以内の就業先は歩こう)、ウォーキング大会 【江東区、府中市】
- ・フレイルサポーター養成研修を受講した会員が会員向けフレイルチェック実施 【西東京市】
- ・センター前で屋外就業会員が、就業前に準備体操を実施【日の出町、新島村、八丈町】
- ・体力測定会、体組成測定会【千代田区、文京区、大田区、東久留米市 他】
- ・「つま先立体操」を各種の会議等の冒頭に実施 【品川区】
- ・「身体機能チェックリスト」、「フレイルチェックシート」を送付し、自己チェックを要請 【稲城市、瑞穂町】

自転車利用時の転倒予防

- ・警察官等による「自転車安全講習会」【文京区、江東区、大田区、荒川区、板橋区、国分寺市】
- ・日本自転車普及協会による「自転車安全講習会」、「自転車シミュレータ体験講習会」【練馬区、立川市、町田市、東久留米市、西東京市】
- ・自転車交通安全研修会(スクエアドストレイト方式) 【調布市】
- ・就業途上の自転車利用を申請・許可制とし、毎年更新する取組 【荒川区】



渋谷区 SC の安全啓発ニュース「ご安全に」第42号に掲載された「自問自答カード」。切り取って使います。



荒川区 SC のウォーキング講座。外部講師を招き、事前登録した会員約20名が参加しました。



調布市 SC は市主催の自転車交通安全研修会に参加。スタントマンが目の前で事故を再現。

「安全管理委員フォロー研修」がスタート

令和6年度から、シルバー人材センター向け悉皆研修として「安全管理委員フォロー研修」を開始しました。令和6年度と7年度の2年間で全58センターに受講していただく計画です。

この研修では、安全就業巡回パトロールの結果をフィードバックするとともに、第1回では安全に関する実施計画、前年度の事故発生状況など自身のセンターの現状把握とグループ討議、第2回では実施計画の達成状況、今年度の課題の洗い出し及び次年度に向けた課題検討などを行います。(第1回:10月、第2回:3月に開催)

開講するに至った背景

会員の平均年齢が上昇する中、傷害事故は年々増加しています。その一方で、安全就業の推進に係る事務局職員は簡単には増員できません。

限られた安全管理体制及び限られた予算の中でも、安全意識の向上(事故削減)に尽力するリーダー会員のもと、安全管理委員会が活発に活動し、その機能を発揮しているセンターでは、安全指標の数値が改善しています。

これらの事例を東京都連合全体で共有することで、安全管理委員会をさらに活性化し、期待する機能・役割を発揮していただくことにより、事故削減につなげたいと考えています。

開講の目的

東京都連合では、各センターの安全管理委員会の主要メンバーを対象としたこの研修を通じ、安全対策に係るPDCA改善サイクルを回す取組を強化していきます。

安全管理委員会の活性化を図ることで、就業会員に安全に対する意識を浸透させ、より効果的かつ実効性をもって事故を減らしていくことを目指します。

活性化の方向性

安全管理委員会をどのように活性化していくかについては、以下のとおりです。

- ・安全就業の推進に係るPDCAサイクルを的確に回す
- ・事故原因の分析力 & 再発防止策の検討力の向上
- ・会員の安全と健康に関する情報発信力の向上
- ・安全パトロールの有効活用(安全に係る情報収集及び情報提供)

第1回の研修概要

- ① 開講の挨拶(開講の目的、連合として期待すること)
- ② 安全活動強化支援員を講師とした座学(40分程度)
- ③ 6名から8名でのグループ討議(課題を持った仮想センターの事例を討議)(60分程度)
- ④ 全グループが討議内容を発表
- ⑤ 閉講の挨拶(3月開催の第2回研修に関する概要等)



グループ討議では委員経験年数が異なるメンバー間で自由な意見交換が行われました。



討議内容発表では各グループの課題と対応策の優先順位付けの理由等を発表し、共有しました。



令和6年度 自主事業新設支援事業

シルバー人材センター会員の経験やスキルを生かし、会員がいつまでも生きがいをもって活躍できるよう、財団では自主事業立ち上げを支援（初期費用の助成及び勉強会の開催）しました。

令和6年度に自主事業を新設したセンター

狛江市、杉並区、立川市（2事業）、千代田区、羽村市、多摩市、府中市、世田谷区、清瀬市、北区 ※新設順

●今年度新設された11自主事業をご紹介します。（★印は令和6年12月以降にオープン予定）

「駄菓子屋」事業 狛江市シルバー人材センター

内容

都内センター初の「駄菓子屋 狛もん」をオープンしました。駄菓子屋近くには地域の子どもたちが遊ぶ公園があり、「狛もん」は子どもから大人まで幅広い多世代交流の場として、会員が楽しく働いています！

80歳以上と80歳未満の会員がペアとなって、お仕事をしています！たくさんのお子さんとの触れ合いがあります。



「スマホ教室」事業 杉並区シルバー人材センター

内容

「ゆっくり・やさしく・何度でも」を基本方針としながらも、基本操作だけでなく、「SNS」や「身近に使用できるアプリ」などをテーマに、講座を開講しております。スマホ班の会員が技能と経験を活かせる機会となっています。



講習時間の一部をサロンにして、受講者同士のコミュニケーションも形成しています。

「たちかわカルチャー教室」事業 立川市シルバー人材センター

内容

会員の多彩な知識や趣味を生かし、幅広いプログラム「陶芸」「木版画」「転倒予防」「写経」「編みもの」教室を開講しました。受講者の趣味を広げ、余暇が楽しくなる講座は、会員のやりがいにつながります。

講座によっては、定員を超える参加申込みがありました。受講者からも好評をいただいています！



編みもの教室

★「空き家見回り」事業 立川市シルバー人材センター

内容

今後増加する空き家管理の需要を見越して、定期的に空き家を訪問・点検し、所有者へ報告するサービスを行います。ユニフォームを着用したシルバー会員の存在が、地域住民の「安心」になるとともに、センターのPRにつながります！

★「家具組立代行及び子ども木工教室」事業 千代田区シルバー人材センター

内容

通販で家具を購入したが、組み立てられずに困っているという高齢者の声に応じて「家具組立サービス」を開始しました。同時に、「子ども木工教室」も開催！高齢者と子どもの多世代交流を図りながら、子どもの長期休暇の宿題をお手伝いします。



★「スマートフォン教室」事業 羽村市シルバー人材センター

内容

企業や自治体等の手続きのオンライン化が推進され、生活環境のデジタル化が急速に進む中、地域住民がスマホの操作で困ったときに、センターを身近に相談できる場所としていただけるように、教室を開設しました。受講者数に応じ、十分な人数の講師で対応し、高齢者が基本操作に加え、便利なアプリを使えることを目指します。

★「すまいる茶論(さろん)」事業 多摩市シルバー人材センター

内容

自宅庭・キッチン・ベランダのできる「農園芸講座」を開講します。農園を借りずとも、自宅庭・ベランダ等で手軽に家庭菜園が楽しめるのが魅力。四季折々の野菜の育成、花卉の栽培をご自宅でできるよう、キットとテキストをセットにした講座です。



★「墓参り代行」事業 府中市シルバー人材センター

内容

「遠方に住んでいて、お墓に行くことが難しい…」という所有者のニーズをキャッチし、「墓参り代行」をメニュー化しました。除草・清掃作業・植木のお手入れ、お線香やお花のお供えなど、豊富なサービスメニューから選択できることにより、顧客満足度向上を図ります。

★「和小物の製作・販売」事業 世田谷区シルバー人材センター

内容

センター事務所は、招き猫発祥の寺として有名な豪徳寺と近接しており、事務所の外に出ると、多くの外国人観光客が行き交う姿を目にします。この立地を存分に生かし、「手芸が得意な会員」と「英語が得意な会員」が、日本の「和」を感じられるような小物を製作・販売し、世田谷区の観光施策の一助を担っていきたいと思います。

★「空き家見回りサービス」事業 清瀬市シルバー人材センター

内容

清瀬市より市民の良好な生活環境を保全できるよう空き家の適正管理をして欲しいとの相談があったことで、市との協定が実現しました。今後は市から空き家所有者へセンターのサービスを案内してもらうなど、連携しながら事業を進めてまいります。外回りの点検のほか、オプションとして、植木剪定や除草作業、簡易的な大作業など、+αのサービスを提供いたします。

★「スマートフォン教室」事業 北区シルバー人材センター

内容

お客様や会員から、携帯端末に関する問合せが増加傾向にあることに必要性を感じ、スマホ教室を始めることにしました。スマホの活用により生活情報とつながることで、地域社会からの孤立防止、趣味や仲間づくりへと広がります。当センターのスマホ教室は、「高齢者の生活をサポートするアイテム」にすることをお手伝いします。

●東京しごと財団主催 勉強会

今年度、自主事業の立ち上げを検討しているセンターに対し、既に「スマホ教室」「カルチャー教室」「空き家管理」「着付け教室」を開設しているセンターより、立ち上げに必要な準備や運営ノウハウを学ぶ機会を設けました。

ご協力いただきましたセンターの事務局及び会員の皆様、ありがとうございました。

《講師のご協力をいただいたセンター(SC)ご紹介》

【スマホ教室】 港区 SC、中野区 SC、調布市 SC

【カルチャー教室】 練馬区 SC、日野市 SC

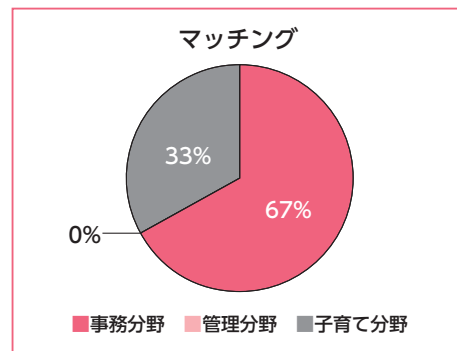
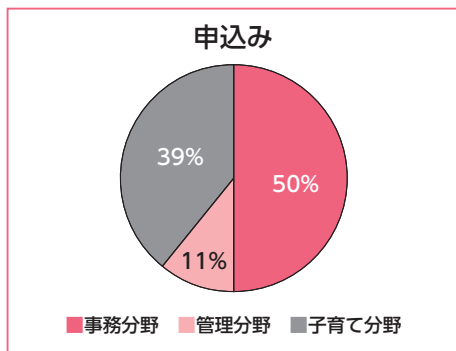
【空き家管理】 町田市 SC、東村山市 SC

【着付け教室】 目黒区 SC

シルバー人材センターの多様な求人開拓の強化

=シルバー人材センター・トライアル就業のご紹介=

今年度より開始しているシルバー人材センター・トライアル就業につきましては、9月下旬より就業開拓が始まり、10月末現在の状況は次のとおりです。



調整中の案件が多くトライアル就業の実績はまだ少ないですが、開拓先の企業からは「これまでシルバー人材センターのイメージは屋外作業だったが、事務もできることを知った」という声もあります。すぐに受注できないとしてもシルバー人材センターのPRにはつながっており、今後に向けてシルバー人材センターの活躍の場が広がっていくことを期待しています。

～シルバー人材センター・トライアル就業とは～

従来シルバー人材センターに発注が少なかった事務系職種や人手不足の保育補助等の就業開拓を民間事業者に委託し、1週間程度体験的にトライアル就業（発注者は無料）をすることにより、発注者及び会員の不安を解消し、その後の継続受注につなげることを目的としています。

シニアしごとEXPO2024

東京都主催の「シニアしごと EXPO」が、今年度も開催されました。このイベントは高齢者の就業拡大の機運を醸成していくため、都内の高齢者就業に携わる公的機関が一堂に集まるとともに、採用に積極的な企業による合同就職面接会を実施し、高齢者の就業を後押しすることを目的としています。シルバー人材センターの周知と会員拡大につなげるべく、東京都連合と都内シルバー人材センターも毎年参加しています。

新宿会場は10月2日に新宿NSビルイベントホールで行われ、東京都連合の他に新宿区シルバー人材センター、江東区シルバー人材センター、豊島区シルバー人材センター、西東京市シルバー人材センターが出展、多摩地域は八王子の東京たま未来メッセで10月17日に行われ、東京都連合と八王子市シルバー人材センター、府中市シルバー人材センター、国立市シルバー人材センター、日野市シルバー人材センターが出展しました。

各シルバー人材センターブースでは、会員による手作り小物の製作実演や販売、パネルの展示など、それぞれ工夫を凝らした展示を行い、来場者にシルバー人材センターの活動を紹介しました。

「シニアしごと EXPO」は来年度も予定されています。多くのセンターの出展をお待ちしています。



新宿会場：江東区シルバー人材センターブース



八王子会場：八王子市シルバー人材センターブース

～会員がイベントのアンケート回収等の業務で就業しました～



まずはタブレットの操作方法をみんなで確認（八王子会場）

当日はイベント会場の出口付近において、来場者に対して「タブレットによるアンケート回答への呼びかけとタブレット操作のサポート業務」、「セミナーを受講された方に対して受講カードと引き換えに景品をお渡しする業務」を、シルバー人材センターが受託し、会員が就業しました。

発注者であるイベント会社の方は会員の皆さまの IT リテラシーの高さに驚かれており、今後もこのような案内業務や事務といった多方面での活躍が期待されます。

就業された会員の皆様、一日お疲れ様でした！

新宿会場：渋谷区シルバー人材センター、杉並区シルバー人材センター
八王子会場：八王子市シルバー人材センター



アンケート回答風景（八王子会場）



見やすいように文字を大きく表示（新宿会場）



セミナー受講者へ景品のお渡し（新宿会場）

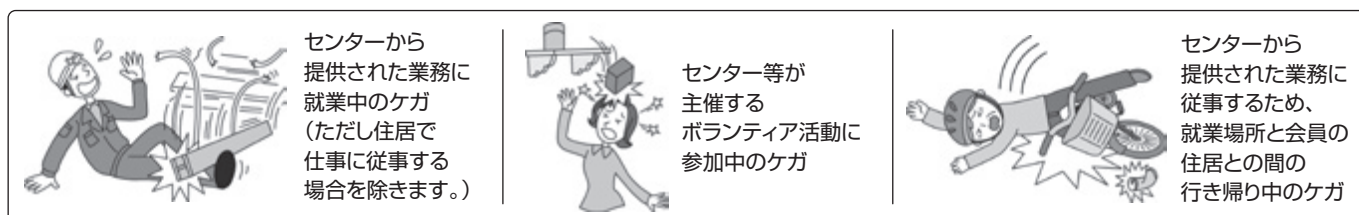
シルバー総合保険制度のご紹介

・シルバー総合保険制度とは

シルバー人材センターの正会員が、

- ①就業中や就業場所への行き帰りに偶然に被った傷害事故、および熱中症による身体の障害を補償の対象とする「シルバー人材センター団体傷害保険」と、
- ②就業中に事故が発生し、他人の身体や財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うこととなった場合を補償の対象とする「シルバー人材センター賠償責任保険」の、2つの補償を組み合わせた保険制度です。

◎対象となる傷害事故例（急激かつ偶然な外来の事故によるケガが対象となります。）



◎対象となる賠償責任事故例



・シルバー総合保険制度の特徴

<熱中症の補償>

シルバー総合保険制度では熱中症（日射または熱射によって、シルバー人材センターの会員が身体に障害を被った場合）による入院（手術）・通院・死亡・後遺障害等も補償します。



<被害者対応費用（ワイドプランのみ）>

対人・対物事故が発生し、損害が発生する恐れを知った時点で、シルバー人材センターがその対処のために支出した①見舞金、②見舞品購入費用、③臨時に支出した費用を補償します。

・具体例

対人事故が発生し、賠償責任有無が確定していないが事態収拾のため医療費実費分を支払った。



速やかに見舞金等をお支払いすることにより、賠償事故の早期解決および交渉難事案への発展を防ぐことができます。

のご案内は概要を説明したものです。詳細は「東京都シルバー人材センター連合シルバー総合保険制度のご案内」にてご確認ください。
お問い合わせ：シルバー保険事業室 TEL：03-5211-2319

適正就業のポイント

就業現場における適正就業確認のお願い

新規契約の際だけでなく、就業現場を巡回する際、契約更新の際などに、適正な状況が継続されているか確認をお願いします。

- 契約書や関係書類は整っていますか？
- 臨・短・軽の範囲を超える就業が、恒常的に発生していませんか？
- 発注者の雇用する労働者との混在就業はありませんか？
- 発注者が、会員に作業内容やシフトを直接指示していませんか？
- 契約書に記載のない仕事内容を、行ってしまっていないですか？
- 会員の仕事量が、発注者側のペースにより左右され、その日の就業の時間、仕事量を会員ご本人で決められない状況になっていませんか？
- 現金の取扱いがある現場では、適切な取扱いがされていますか？



～具体例の解説～



その業務、警備業法に抵触していませんか？



シルバー人材センターは、受託した業務を「営業」として行うものではないので、警備業務に該当する内容でなければ会館管理等の管理業務を受託することに通常問題はありませぬ。ところが、契約書の内容や会員の就業実態によっては、警察当局から警備業務に抵触するとして指摘される場合があります。シルバー人材センターが管理業務を受託する際には、次の点に特に留意してください。

- ①業務内容が警備業法第2条に該当するものでなく、かつ、高齢者の就業にふさわしいものである
- ②警備業者からの発注（いわゆる下請）でないことを確認する
- ③「警備」「警戒」「防止」「救助」「監視」「盗難」「誘導」「巡回」「防犯」「防火」「安全確保」等の業務が含まれている場合は、警備業務と解されるおそれがあるため、業務内容について詳細を確認する

“駐車場管理業務”の業務内容に、「車両を誘導する業務」が含まれていないか

“宿直業務”の業務内容に、事故や盗難防止のための施設内の巡回、緊急時の対応などが含まれていないか

※契約書の業務内容について点検し、警備業法に抵触しない範囲で業務が行われているか、業務実態の把握をお願いいたします。

フリーランスの取引に関する新しい法律が11月にスタート!

特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（いわゆる「フリーランス新法」という）が令和6年11月1日に施行されました。

フリーランス新法は、フリーランスの方が安心して働ける環境を整備するため、フリーランスと発注者の取引の適正化及びフリーランスの就業環境の整備を図ることを目的としています。

請負・委任の形態で就業するシルバー人材センター会員は「特定受託事業者」に、業務を委託するシルバー人材センターは「特定業務委託事業者」に該当します。

このため、フリーランス新法により、シルバー人材センターは会員に対して、業務内容、報酬の額及び就業場所などの就業条件を明示する義務があります。

シルバー人材センター事務局への経営支援

～中小企業診断士による個別支援について（実施期間は2月末まで）～

【実施内容】

主な相談
可能項目

新規会員獲得／既存会員の退会抑制／会員の就業機会の拡大／事務・業務の効率化・デジタル化／職員の採用・育成・定着・活用／収益拡大・自主事業・地域貢献 など

※上記以外に広報部会やブロック会議など各種会議への参加や中長期計画の策定に向けた助言などの対応も可能です

具体的な
相談事例

- 勤怠管理、起案文書等のワークフローのデジタル化について
- 入会促進に向けた「チラシポスティング」や「新聞折込」の効果的なPR手法について
- 会員の増やし方や希望者の少ない就業案件のアプローチ方法について
- 書類・備品配置の整理、事務所内のレイアウト変更について
- 顧客向けアンケート調査の効果的な実施について

現在も専門家による個別相談・専門家派遣のお申込みを受け付けております

東京しごと財団と契約している一般社団法人東京都中小企業診断士協会所属の中小企業診断士がシルバー人材センターへお伺いし、センターが提供する参考資料や相談内容を基に課題整理を行い、効果的な改善手法について助言をいたします。

【実施までの流れ】

- ① 申込書を財団へ提出
- ② 申込書内容を基に専門家とシルバー人材センター間で支援内容の確認と日時調整（電話/メール等）
- ③ 日程調整がついたシルバー人材センターより随時実施

【実施期間】 令和7年2月末まで

お問い合わせ シルバー経営支援担当係 Tel: 03-5211-1552 Mail:sc-keiei@shigotozaidan.or.jp

シルバー人材センター等労働者派遣事業



令和6年度上半期は事業所開設53地区のうち47地区事業所において派遣事業を実施しており、事業実績は以下のとおりです。

昨年同時期と比べると、会員数、受託件数、就業延人員、契約金額、すべての項目が増加しています。

これまで請負にて受注していた大型契約を、業務内容の変更により派遣による受注に切り替えたことが大きな要因です。

事業所別で見ると、約8割の事業所が昨年より実績増となっています。

労災事故については、上半期は14件でした。昨年同時期が21件だったため、約3割減となりました。通勤途上の事故は4件で、うち3件は自動車と関係する事故でした。就業中だけでなく、通勤途上においても注意が必要です。

事故の内訳は転倒が6件と最も多く、うち5件は骨折する重傷です。例年、この傾向は続いており、段差や障害物につまずく事例が多く見られます。

派遣業務の受注が進み、就業される会員も増加しています。事故防止に努めるとともに、連合と地区事業所と協力しながら、事業の適正な運営に努めていきます。

	会員数 (人)	受託件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (千円)
令和5年度	9,829	4,597	138,381	858,723
令和6年度	10,585	5,238	159,644	1,064,637
増減比	+7.7%	+13.9%	+15.4%	+24%

(令和6年9月末現在)

「シルバー人材センターに入会しませんか」

楽しくて、ためになるイベント・講習会 \ 絶賛開催中 //

シルバー人材センターの仕組みや魅力について、地域の高齢者等に知っていただくことを目的としたイベント・セミナーを都内各地で展開中です。その一部をご紹介します！

これからシルバー応援フェスタ

令和6年10月9日(水) 新宿区～新宿区立産業会館



- ▶「ゆとり・ユーモア・帰りは元気!」
講演：フリーアナウンサー 宮本 隆治 氏
- ▶シルバー人材センターのご案内
新宿区シルバー人材センター 会員の皆様

令和6年10月23日(水) 台東区～台東区役所



- ▶「元気で働く秘訣」
講演：理学博士 池田 清彦 氏
- ▶シルバー人材センターのご案内
台東区シルバー人材センター 会員の皆様

令和6年10月24日(木) 足立区～シアター1010



- ▶「人生100年時代を私らしく生きるコツ」
講演：産婦人科医・医学博士 産業医 高尾 美穂 氏
- ▶シルバー人材センターのご案内
足立区シルバー人材センター 会員の皆様

令和6年10月31日(木) 稲城市～稲城市立iプラザ



- ▶「人生楽しく生きなきゃそんだもん!」
講演：歌手・女優 あべ 静江 氏
- ▶シルバー人材センターのご案内
稲城市シルバー人材センター 会員の皆様

【11月以降の開催内容】

- | | | | |
|----------------|-----------|------------|---------|
| ▶令和6年11月15日(金) | 玉川区民会館 | 医師・作家 | 鎌田 實 氏 |
| ▶令和6年11月22日(金) | 小平市民文化会館 | 医師・作家 | 鎌田 實 氏 |
| ▶令和6年12月12日(木) | 東村山市中央公民館 | タレント・国際薬膳師 | 麻木久仁子 氏 |

高齢者活躍人材確保育成事業

保育のお仕事体験会

実施日時 令和6年6月28日(金)
13:30～16:30

場所 文京シビックセンター

内容 初心者向けに保育の役割、保育補助の心得、子どもの遊び等を体験



植木剪定のお仕事体験会

実施日時 令和6年10月7日(月)
13:00～16:00

場所 府中市ルミエール府中、中央文化センター

内容 府中市シルバー人材センター植木班による植木剪定の基礎(座学)と剪定の実技を体験



時短でできる!おいしい健康食! 調理セミナー

実施日時 令和6年7月2日(火)
13:00～16:00

場所 調布市文化会館たづくり10階

内容 家事援助で行う調理のお仕事や日々の暮らしに役立つ調理方法を紹介



プロ直伝 家事スキルアップ講習

実施日時 令和6年10月15日(火)
13:00～16:30

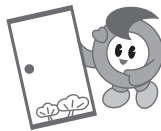
場所 板橋区常盤台地域センター

内容 洗濯講習「洗濯・アイロンがけのコツ」
整理収納講習「整理収納のコツ」の2本立て



会員拡大に向けて「シルバー体験講習」とあわせてぜひご活用ください!

令和6年度 会員向け技能講習



東京しごと財団では、シルバー人材センターで就業を希望する会員の方を対象とした講習を実施しています。令和6年度は、以下の講習を実施します。

職域拡大技能講習（レベルアップ）

コース名	定員(人)	日数(日)	講習期間	講習会場
襖の張替え 「襖の張替え」の基本的な事柄を再認識し、技術向上を図ると同時に安全で効率よく襖を張替えることができるプロのコツ等を実技で学ぶ	15	3	令和7年3月4日(火)・5日(水)・6日(木)	東京しごとセンター

※令和6年度は、5講習の実施を予定していますが、1月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

就業支援講習（基礎的な知識・技能の習得）

※令和6年度の募集は全て終了しています。

☆令和7年度の募集は、2月下旬以降にご案内の予定です。

お問い合わせ シルバー講習担当係 TEL:03-5211-2326

令和6年度 シルバー人材センター役職員研修 東京都連合の取組について



連合では、理事・監事を対象とした「役員等研修」と、事務局職員を対象とした「職員研修」を実施しています。シルバー人材センター事業の運営に必要な知識・情報を提供できるよう、時機に応じた研修を実施しています。また、受講者アンケートをもとに、毎年度内容の見直しを行い、魅力のある研修となるよう取り組んでいます。

役職員研修実施予定（1月～3月分）

対象	研修名	開催日	内容
職員	決算実務	1月16日(木)	決算時における書類作成のポイント
	総会運営	1月28日(火)	事前準備のポイント
	悉皆研修(第2回)	2月10日(月)	人権・非行防止・個人情報保護

※開催日は都合により変更になる場合があります。

～研修紹介～

職員研修「リーダーシップ研修」

次長職昇任1～2年目の職員を対象として毎年、リーダーシップ研修を行っています。

今年度は新たな講師に依頼し、グループワークを多く取り入れた研修となりました。次長の役割と位置づけを認識するために、まずはこれまでの自身のキャリア等について振り返りを行いながら、「リーダーシップ」とは何かを学びました。

班ごとに活発な意見交換が行われ、受講者からは「自分らしく、一貫性を持ったリーダーシップを発揮していくこと、また、周囲をひきつけながら、つながる組織を作り上げていくことの重要性を知ることができた」といった声が多く寄せられました。

会員の方々が安心して就業できるよう全力サポート

「生活支援サービス研修」にご参加ください!

平成27年度の介護保険制度の変更に伴い、「介護予防・日常生活支援総合事業」が設けられ、東京しごと財団(東京都連合)では福祉・家事援助サービスの事業として、東京都内のシルバー人材センター会員向けに「生活支援サービス研修」を開始しました。当初の研修は8日間の大変ハードなものでしたが、年度合計4回実施し、受講者は平均20名以上と多くの方に参加いただきました。次年度からは研修内容を見直し、日程を5日間、年6回に変更、平均の受講者数は17名を超え、平成30年度は新たなセンターの総事業参入もあり、平均受講者は21.9名となりました。

しかし、その後は新型コロナウイルスの影響により、戸宅訪問がメインの生活支援サービスでは、サービス利用を控える動きと、会員が就業を控えたことから、受講者が1桁台の時期が続きました。

こうした中、東京しごと財団(東京都連合)では、今年度からセンターからの要望に応じて開催する地域や会場の見直しに取り組み、研修内容がわかりやすいように募集チラシを変更した結果、受講者数が増加に転じました。世の中が日常の生活に戻つつあることも要因の一つと考えられます。今後も充実した研修を実施し、生活支援サービスに従事する会員の方々に支援してまいります。

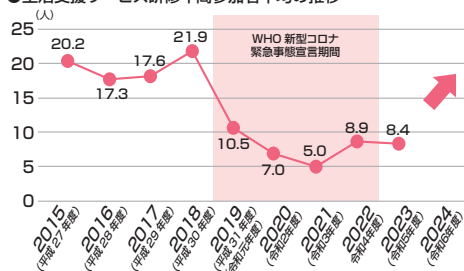


令和6年度第4回募集チラシ

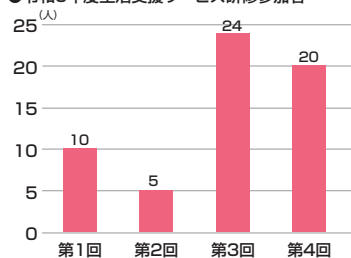


令和6年度「地域福祉サービス・介護保険制度」の講義の様子

●生活支援サービス研修年間参加者平均の推移



●令和6年度生活支援サービス研修参加者



●令和6年度 生活支援サービス研修の会場

回数	開催月	会場	所在地
第1回	5月	三多摩労働会館	立川市
第2回	7月	NATULUCK飯田橋東口駅前店	千代田区
第3回	9月	Three Eight Nine MITAKA	三鷹市
第4回	10・11月	すみだ産業会館	墨田区
第5回	2月	三多摩労働会館	立川市
第6回	3月	アットビジネスセンター 渋谷東口駅前	渋谷区

おしゃれなヘルメット



着せ替え用帽子付き自転車ヘルメット「カポル」



自転車先進国
ヨーロッパの
安全基準
CEマークに準拠

冬にぴったりな温かい
素材のタイプもあります！

サイズはS:52-55cm、M:56-59cm、L:59-62cmの3種類
(日本人の頭部形状に合わせた適正サイズ)

カポルは帽子のデザイン性とヘルメットの安全性がひとつになった製品^{※1}です。帽子だけを変えられますので季節や気分に合わせて着せ替えが楽しめます。また、街を歩くときはおしゃれな帽子として、自転車に乗るときは安全で快適なヘルメットとして使用できます。

一般社団法人 全日本交通安全協会推奨！

※カポルは公益財団法人 東京しごと財団との共同開発製品です。

※1:POCOシリーズおよび一部デザインに帽子機能の無い製品がございます。

■お問合せ先

株式会社日本パレード フリーダイヤル ☎0120-71-8010

<https://www.nippare.com/capor/>

デジタル技術で、活力ある未来社会の創出へ

NRI社会情報システムは、
シルバー人材センターとの
価値共創を通じて、
持続可能な未来社会
づくりに貢献していきます。

シルバー人材センター向け
総合情報処理システム
エイジレス80

シルバー派遣事業向け
情報処理システム
Collabo80+

会員向けクラウドサービス

Smile to Smile

※「エイジレス80」は、東京しごと財団と野村総合研究所の登録商標です。

NRI NRI社会情報システム
NRI Social Information System Services

〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25 タワーS棟
TEL:03-6660-9766 FAX:03-6660-9767
<https://www.nri-social.co.jp>

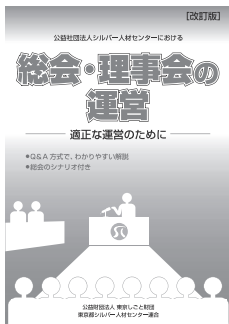
*Envision the value.
Empower the change.*

シルバー
テキスト

13年ぶり待望の最新版！

公益社団法人シルバー人材センターにおける 「改訂版 総会・理事会の運営」「改訂版 理事の役割と活動」

シルバー人材センターの活動に特化して詳しく説明する2冊が令和6年6月に大幅改訂されました。
初心者でも大丈夫、あなたの知りたいことがきっとここにある！



【改訂版】
主な内容

第1編 会員総会の運営
第1節 会員総会の意義
第2節 総会の概要
第3節 総会の開催
総会運営に関するQ&A1~26
総会関連各種資料

令和6年6月発行
A4判 97ページ
定価1,375円(税込・送料別)



【改訂版】
主な内容

第1章 シルバー人材センターの
役割と目的
第2章 理事の職責
第3章 理事のなすべき役割と活動
※今回の改訂で「総会・理事会の
運営」で好評のQ&A形式の説明が
加わりました。

令和6年6月発行
A4判 36ページ
定価729円(税込・送料別)

公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター
TEL 03-5211-2314

URL <https://www.tokyosilver.jp/>

シルバーとうきょうは、東京都シルバー人材センター連合のホームページからもご覧いただけます。

個人情報の取扱について

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)、「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」及び関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基本方針を制定しています。個人情報の取扱の詳細はホームページ(<https://www.shigotozaidan.or.jp/>)または、窓口でご確認ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用